

# 宮城大学同窓会

2015年度(2015.10.1～2016.9.30)決算・活動報告  
および

2016年度(2016.10.1～2017.9.30)予算・活動計画

## 資料

- 1 宮城大学同窓会について
- 2 15年度活動報告・決算報告
- 3 同窓会運営委員会人事
- 4 食産業学部同窓会について
- 5 ホームカミングデー実施について
- 6 会員定義、会費に関する規約改定について
- 7 同窓会名簿作成・発刊について
- 8 16年度活動計画案
- 9 16年度予算案
- 10 同窓会規約(今回改訂後)

## 宮城大学同窓会とは

### 主な沿革

- 2006.夏頃 「同窓生パーティー」開催に向け有志を募る
- 2007.2.10 「同窓生パーティー」を仙台にて開催し、同窓会設立の賛同を得る
- 2007.12.1 設立総会開催、発足
- 2009.2.7 同窓会パーティーを仙台にて開催
- 2010.3.28 交流企画として上野公園にて花見を開催
- 2011.3 「被災学生支援募金」集約
- 2011.4 「学生支援委員会」設立、就活セミナー開催
- 2011.5 「東京就活ツアー」実施
- 2016.10「大和キャンパスホームカミングデー」主催  
「太白キャンパスホームカミングデー」協賛

### 趣旨

- ① 卒業生の名簿(連絡先)管理
- ② 卒業生同士の交流促進
- ③ 卒業生と現役生・教職員間の交流・支援
- ④ その他、宮城大学のためになることをする

### 特徴

- ① 低コスト運営
- ② 最低限の機能と、事業実施とを分離
- ③ IT活用

### 卒業生の皆様、学内の皆様へ

様々な単位での集まりや呼び掛け・案内について、同窓会へ登録した卒業生に情報を配信することができます。ご希望の方は、同窓会運営委員会まで連絡を下さい。

アドレス → [admin@amyus.net](mailto:admin@amyus.net)

(例えば:〇〇学部〇〇年卒業生の同窓会を開催したいので、該当年次の方々にメッセージを送って欲しい、学内でイベントを開催するので情報を流して欲しい 等)

### 連絡先

宮城大学同窓会運営委員会

郵便 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

メール [admin@amyus.net](mailto:admin@amyus.net)

Twitter [mydousoukai](https://twitter.com/mydousoukai)

委員長 畠山 直樹(事業構想学部2002年卒)

直通電話 090-1060-8836

(平日は仕事がありますので、お急ぎでなければ夜間18時以降にお電話下さい)

宮城大学同窓会 2015年度(2015.10-2016.9)活動報告

年月日 内容

2016年 3月	卒業生対象のSNS登録案内実施
2016年 4月	入学生対象の会費納付受付実施
2016年 6月	宮城大学開学20周年に呼応した同窓会特別計画の決起大会実施

過去4年間、目立った動きを起こせておりませんでした。今回宮城大学開学20周年に呼応し、企画実施と同窓会組織再構築を両輪とした「特別計画」を策定し、2016年10月以降実施して参ります。

宮城大学同窓会  
2015.10~2016.9.決算報告

作成: 畠山、更新日: 2016/10/7

収入		計	備考
	2016.4入学生会費収入	392,000	
	その他年次 会費収入	0	
	引継ぎ繰越金	3,284,724	
	収入計	3,676,724	

支出	費目	明細	計	備考
webサーバ費		ドメイン維持費	1,852	
		サーバレンタル費	61,716	
事務用品費		事務用品	83,199	
会議費		移動費	359,925	
		宿泊費	48,709	
		会議費	45,815	
通信費		切手・郵送料・手数料	3,242	
その他				
	支出計		604,458	

収支計	(収入計-支出計)	¥3,072,266
-----	-----------	------------

上記の通り報告いたします。

2016年10月7日  
宮城大学同窓会  
運営委員会委員長  
畠山 直樹



上記決算報告は、同窓会規約に従い、会計の状況を正しく示しているものと認めます。

2016年10月8日  
宮城大学同窓会  
会計監査  
幸 かおる



同窓会運営委員会 2015年度(2016.10.1～2017.9.30) 役員人事案

役職	氏名	入学年次	卒業時所属	卒業年次
委員長	畠山 直樹	1998	事業計画学科	2002
副委員長	佐藤 大介	1998	看護学科	2002
副委員長	澤口 利絵	1999	看護学科	2003
副委員長	嶋田 圭	2005	ファームビジネス学科	2009
会計監査	幸 かおる	1998	事業構想学研究科	学部2002 院2004
委員	大村 哲	1997	事業構想学研究科	学部2001 院2003
委員	石倉 あゆみ	1998	看護学科	2002
委員	岩澤 仁子	1999	事業計画学科	2003
委員	鈴木 美幸	1999	事業構想学研究科	学部2003 院2005
委員	高山 純人	2000	事業計画学科	2004
委員	成田 康宏	2010	事業計画学科	2014
委員	西 良弘	2005	事業計画学科	2009
委員	水戸 裕也	2007	ファームビジネス学科	2011
委員	力丸 萌樹	1997	総合系	2001
委員	渡辺 一馬	1997	総合系	2001

※既婚の方であっても、旧姓ベースでの記載です。

## 総会議案:食産業学部同窓会の設立について

食産業学部同窓会設立の正式承認と今後の連携を行うために、同窓会規約への盛り込みを行います。食産業学部同窓会の代表の方が、宮城大学同窓会の役員兼任することを必須とし、また今後においては名簿管理やイベント実施、広報において、一体的にできる部分はそれを行うことをはじめとして相互に協力を行うことや、予算措置上の経費支出等、広範囲の連携を行います。

以上のことに伴い、宮城大学同窓会の会員定義、会費に関する規約条項を変更します。

食産業学部同窓会

12 本会に食産業学部卒業生を会員とした分科会を設置し、分科会の細則は同会内にて定める。

### これまでの経緯

食産業学部は2014年に学部創設10周年を迎え、それに併せて食産業学部同窓会の立ち上げの呼びかけを行いました。

同窓会の立ち上げに先駆け、食産業学部卒業生の有志数名の協力により、太白キャンパスの大学祭において、10周年記念式典と交流会をホームカミングデーとして開催し、卒業生及び在校生、教職員合わせて80名ほどが参加しました。

2回目となる2015年のホームカミングデーでは、食産業学部各学科の1期生をゲストスピーカーとして招き、在校生や宮城大学進学を目指す高校生に向けて、学生生活の思い出や社会人になってからの活動などを講演しました。

そのようなイベントを行う上で、やはり卒業生への告知、連絡体制の整備などが課題として挙がりました。今回、宮城大学創設20周年という節目の機会に、正式な承認をいただき、今後の活動を盛りたてていきたいと考えています。

また、様々な実りを育む食産業学部ならではの同窓会となるよう期待を込めて、名称を「みのり会」と名付けました。

### 食産業学部同窓会運営委員会 2015年度(2016.10.1～2017.9.30) 役員人事案

今回の発足を機に以下の人事案にて、今後の活動を進めていきます。

役職	氏名	入学年次	卒業時所属	卒業年次
委員長	嶋田 圭	2005	ファームビジネス学科	2009
副委員長	水戸 裕也	2007	ファームビジネス学科	2011
副委員長	木村 優貴	2005	フードビジネス学科	2009
副委員長	堀井 恵介	2009	環境システム学科	2013
会計監査	高橋 香奈子	2005	ファームビジネス学科	2009
委員	山内 歩実	2009	ファームビジネス学科	2013
委員	佐藤 朋美	2006	フードビジネス学科	2010
委員	佐藤 雄真	2005	環境システム学科	2009

### 今後の活動について

今回、正式な同窓会を承認をいただくことで、安定した組織体制をつくり、より充実した活動を行っていききたいと考えています。

食産業学部同窓会会員は、全体の宮城大学同窓会に入会していることを前提に、分科会としての食産業学部同窓会に属することとし、現在の宮城大学同窓会の運営方法に倣い、互いの協力のもと、運営を行っていききたいと考えております。

ご理解とご協力いただきますよう、宜しくお願い致します。

# 「宮城大学大和キャンパスホームカミングセミナー」概要

宮城大学同窓会  
畠山 直樹

主催	宮城大学同窓会
開催日	2016年10月9日(日)、10日(月祝)
会場	宮城大学大和キャンパス 300講義室
目標来場者数	300名(1コマ平均30名 × 10コマ)
概要	1997年に開学し、今春までに延べ6000名弱の卒業生を輩出した宮城大学。卒業後、様々な分野で活躍する宮城大学卒業生を中心にスピーカーを招聘し、学生時代や卒業後の経歴・エピソード、自身の想いについて語りながら、聴衆との交流を行う講座を、10コマ開催します。
目的	卒業生、現役生、受験生、地域住民の間で交流を図り、過去と現在を踏まえながら、未来志向の気付きを育むことで、建学の精神「ホスピタリティ&アメニティ」を再確認します。 卒業生にとっては、上下水平での刺激を受ける機会 現役生にとっては、卒業後の進路の参考になるかも？ 受験生にとっては、大学入学から卒業後の過程をイメージする参考に、 地域住民にとっては、ユニークな新設大学として開学した宮城大学の卒業生を知る機会として。それぞれ各々の、学びと気付きにつながる機会を作ります。
タイムスケジュール	
10月9日(日)	1時間目 10:00～10:50
初日	2時間目 11:00～12:00
	3時間目 13:00～13:50
	4時間目 14:00～14:50
	5時間目 15:00～15:50
	※なお同会場にて、17:30から同窓会定期総会を開催の予定です。
10月10日(月祝)	1時間目 10:00～10:50
二日目	2時間目 11:00～12:00
	3時間目 13:00～13:50
	4時間目 14:00～14:50
	5時間目 15:00～15:50
招聘に際して	講師の方には、紹介見出しに使う一言テーマ(20字以内)を事前に設定して頂きます。所属先・肩書・詳細プロフの掲載については、ウェブと配布ペーパーそれぞれについて、予め可否を伺います。希望コマについては、第一、第二、第三希望まで承ります。
往復交通費	講師の方の往復交通費は、同窓会予算から全額拠出させていただきます。なお使用交通手段については、申告金額もしくは同窓会事務局が確認した駅すばあとでの検索結果の、いずれか安価な経路手段でのお支払いといたします。
メディア露出	卒業生のチャンネル活用で、メディア取材を働きかけます。
なお翌週には太白キャンパスにて食産業学部主催のホームカミングデーが行われます。	

## 総会議案:同窓会規約改定について

宮城大学同窓会  
運営委員会  
委員長 畠山 直樹

宮城大学同窓会の会員定義、会費に関する規約条項を変更します。

### 変更前規約

会員	第5条	本会の会員資格は、以下の要件を全て満たした者とする。 1.宮城大学各学部・各研究科の在籍経験者(現役生含む) 2.別途定める本会の入会金を支払った者 3.運営のための連絡が取れる者
会計	第6条	本会の経費は、会員の入会金、会費及び寄付金をもってあてる。

### 変更後規約

会員	第5条	本会は、宮城大学各学部・各研究科の全在籍経験者(現役生含む)をもって構成される。
会計	第6条	本会の経費は、会員の会費、寄付金をもってあてる。

### 目的

全卒業生の追跡調査を大学と共同実施し、名実共に「宮城大学の在籍経験者全体を代表する団体」として今後の活動に繋げるため、会の趣旨をそれに沿う形にする

### 趣旨

今回、同窓会会員資格の必須要件を「宮城大学各学部・研究科の在籍経験者」へと変更します。その上で、全卒業生の追跡調査を大学と共同実施し、成果として確立される予定の卒業生名簿を大学と共同管理し、宮城大学の在籍経験者「全体」を代表する団体として、今後の活動に繋げてまいります。

本来、一般に通念的な「全体の名を冠した同窓会組織」というものは、そのほぼ全ての卒業生ないし類似の概念をもって構成される、ゆるやかな大きな傘の団体であります。

宮城大学同窓会の場合、大和キャンパス第1期生の卒業時(2001年3月)に同窓会が結成されなかった歴史があり、同窓会が存在しなかった時代を永らく経た後に、2007年夏に開催した大同窓生パーティー参加者からの賛同を原点として、同12月に設立へと至った経緯があります。

その成り立ちからの経緯として、これまでの会員資格として「SNS登録必須」「入会金1,000円」という、言い換えれば「参加意思表示を所定の手段で表明していただくこと」という要件の設定がありました。

やむを得ない流れではありますが、これにより会の性格は「手を挙げた人によって組織された、有志で構成される組織」に留まる存在であったため、大学とは切り離された情報管理を行う形となり、また大学との名簿共同管理も難しい状況でありました。

今回の規約改定は、宮城大学同窓会の発展再結成と言える、大きなインパクトのあるものです。同じく規約に定義する同窓会の趣旨実現のため、大学との協力体制を進めることで、母校・後輩諸氏への貢献、また交流を一層推進して参ります。

以上

## 宮城大学同窓会名簿作成・発刊に関する趣意書

宮城大学同窓会 運営委員会  
委員長 畠山 直樹

### 概要

公立大学法人宮城大学との連携により、同窓会名簿を作成します。  
実施にあたっては、同窓会コンサル業界の最大手企業(プライバシーマーク取得)に業務委託を行います。  
あわせて規約変更を行うことにより、宮城大学同窓会は「希望者が入会する任意団体」から、「全在籍経験者を代表とする会」へと変貌を遂げることとなります。

### 実施の意義

宮城大学開学20周年記念事業の一環として、大学の協力を得て同窓会名簿の作成を行う運びとなりました。  
全卒業生対象の追跡調査を、一度しっかりとした形で行い、同窓会組織・活動の強化に繋がります。  
丁度10年前に、ヒト・モノ・カネが何もないところから立ち上げた同窓会で、連絡手段としてこれまではネット上の仕組みだけであり、主な手段である自前のSNSについても、連絡先追跡の方法として不安定であったところ、同窓会設立当初に要望を出しつつも叶わなかった、公式な形での卒業生追跡調査が可能となり、その後も年1回の追加訂正が加わることで、今後に繋げて参ります。  
これまでは、自主的にSNSへ登録した方のみを会員としてカウントしていましたが、今後は今回作成する同窓会名簿での消息判明・原簿にお名前前の記載される方が、会員としてのカウント対象となります。

### 名簿冊子の発刊を行う理由

開学20周年を記念した冊子としての趣旨を持たせた発刊となります。  
発刊時の広告掲載により、費用負担を軽減する意図もあります。  
販売実績の多寡による支出経費の変動、同窓会側のリスクはありません。

### 懸念事項と対応策

「同窓会」「名簿」というフレーズに対し、否定的イメージを持たれる方も少なくないと思われませんが、個人情報掲載については、皆様個々に可否をお伺いするようになっております。  
名簿の販売先としては、宮城大学卒業生限定となりますので、悪意を持った利用の無い限り、情報流出の心配はありません。  
名簿作成業務委託先については、個人情報保護法施行の初年度にプライバシーマーク取得しており、業界随一の信頼のおける企業です。また大学と一体となって今回事業を進めて参ります。

### 実施の枠組み

かかる経費は、公立大学法人宮城大学の「20周年記念事業関連予算」からの拠出予定です。  
①大学と同窓会との連名で、全卒業生に対し調査票を発送します。  
②調査票による一次調査を経て、電話等の複数手段による二次調査を実施します。  
③同窓会名簿は冊子形態での発刊を行い、卒業生の希望者を対象に販売を行います。  
④発刊後の原簿データについては、宮城大学と共同で管理・保管を行います。  
段取り上、業者に対しては一旦同窓会からの支払いを行います。  
そのため関連経費として新年度予算案にて「50万円」を計上しております。

### 業務委託先企業について

同窓会向けコンサルティングの最大手企業。  
2001年プライバシーマーク取得、これまでに8回更新済み。  
個人情報保護法を順守し、全国大学・高校等同窓会からの受託多数の企業です。

以上

## 宮城大学同窓会 2016年度(2016.10.1～2017.9.30) 活動案

年月日	内容
2016年 10月	大和キャンパスホームカミングデー実施
2016年 10月	同窓会定期総会実施
2016年 10月	食産業学部同窓会「みのり会」発足
2016年 10月	同窓会名簿作成事業スタート
2016年 11～翌3月	卒業生への入会案内、会費收受
2017年 3～4月	入学生からの会費收受
年度中	同窓会報発刊

※運営委員会は定期的に開催実施(仙台・東京)

### 大和キャンパスホームカミングデー

別紙参照

今年度「ホームカミングデー」を試行錯誤ながらも実施し、スキームの確立により、今後の同窓会活動に繋げて行きます。食産業学部ホームカミングデーについては、学部主催の企画に対し広報・予算面から後援致します。

### 食産業学部同窓会「みのり会」発足

別紙参照

### 同窓会名簿作成事業

別紙参照

### 同窓会報発刊

現役生との連携により作成を進めます。

宮城大学同窓会運営委員会 2016.10～2017.9予算案

作成: 畠山、更新日: 2016/10/7

収入		計	備考
	2017.4入学生会費収入	400,000	
	引継ぎ繰越金	3,072,266	
	収入計	3,472,266	

支出	費目	明細	計	備考
	IT費	ドメイン維持費	1,852	
		サーバレンタル12ヶ月分	61,716	
		メール配信ソフト購入	30,000	
	事務用品費	用紙代等	50,000	
	会議費	交通費・宿泊費	600,000	ホームカミングデー関連等
		会議雑費	50,000	
	委託費用	同窓会名簿作成委託費	500,000	
		同窓会報作成協力学生謝金	100,000	
		支出計		1,393,568

収支計	(収入計－支出計)	¥2,078,698	
-----	-----------	------------	--

## 宮城大学同窓会規約

- 総則**
- 1 本会の名称を、宮城大学同窓会とする。
  - 2 本会は、会員の自発的な意志により、会員間、並びに会員と学生、父母、大学教職員との交流、連携促進、その他、宮城大学の発展に寄与することを目的とする。
  - 3 本会の連絡先を、宮城県黒川郡大和町学苑1に置く。
  - 4 第2条の目的を達成するため、2種類の委員会を設置する。
    - 1 会全体の渉外・会計・連絡役として活動を行う「運営委員会」
    - 2 その他、本会の目的達成のため必要の都度結成し活動する「特定目的実行委員会」
- 会員**
- 5 本会は、宮城大学各学部・各研究科の全在籍経験者(現役生含む)をもって構成される。
- 会計**
- 6 本会の経費は、会員の会費、寄付金をもってあてる。
  - 7 本会の会計年度は、毎年10月1日より翌年9月末日に至る1年間とする。
- 総会**
- 8 本会は、年一回、定期総会を開催し、必要に応じて不定期に臨時総会を開催する。
  - 9 総会は、運営委員長が召集する。
  - 10 総会は同窓会運営委員会委員長が招集し、開催3週間以上前からの公示と当日15名以上の会員出席が行われることにより成立する。その決議には会員出席者の過半数の賛成を要する。決定事項は1ヶ月間の公示期間を経て、その期間中に全会員中1/5以上の反対意思表示が無い場合に最終的に成立する。
- インターネット上での総会**
- 11 総会は運営委員会が設置するインターネット上のコミュニティで開催を行うことも可能とし、その決議結果については、公示後1ヶ月以内に全会員中1/5の反対票が無い場合に承認される。
- 食産業学部同窓会**
- 12 本会に食産業学部卒業生を会員とした分科会を設置し、分科会の細則は同会内にて定める。
- 運営委員会**
- 13 本会に、唯一の常設機関として会全体の渉外・会計・連絡を協議・遂行するための「運営委員会」を置く。
  - 14 運営委員会は、日常の交流、また、期中での意志決定や告示・公示を行う手段として、インターネット上のコミュニティを設置・運営する。
  - 15 運営委員会は、12条、13条の業務の他、会員相互が様々な交流単位(在学中の旧所属ゼミ・学年・学科・サークル、居住地や職種等の、任意の単位)を形成し、連絡を取り合うための仕組み作り・呼び掛けを行う。
  - 16 運営委員会の管掌事項は12～14条に定めた範囲に限定し、それ以外の事業・活動を行わない。
  - 17 運営委員会に、以下の役員を置く。

委員長	1名
副委員長	2名以上
会計役	1名
会計監査	1名
委員	若干名
  - 18 運営委員会各役員の任期は年度末までとし、翌年度の再任を妨げない。
  - 19 運営委員長は、本会の会務を統括し、運営委員会を招集する。
  - 20 副委員長は委員長の活動を補佐し、必要に応じて代行を行う。
  - 21 委員長、副委員長、会計役の人事は自薦・他薦によって選出し、総会の承認を経る。
  - 22 委員は委員長が任命し、1ヶ月の公示期間を経て承認される。
  - 23 運営委員会は不定期に開催し、決定事項は1ヶ月の公示期間を経て承認される。
  - 24 運営委員長は毎年会計年度後に開かれる最初の総会にて活動報告を行い、その承認を得なければならない。
  - 25 会計役は毎年会計年度後に開かれる最初の総会において会計報告を行い、その承認を得なければならない。
- 特定目的実行委員会**
- 26 本会では、各会員の自発的な意思により、個別の懇親会、その他会の趣旨に沿った活動を行う「特定目的実行委員会」を結成することができる。
  - 27 特定目的実行委員会の新規設立は、以下の手順により行う。
    - (1)会員有志が事前に設立趣旨、基本人事、活動内容、予算、成果予測について計画を策定した上で、インターネット上で2週間以上の期間をかけパブリックコメントを集める。
    - (2)上記期間を経た後、集まった意見を踏まえた上で改めてインターネット上で会員に対して提案を行い、その後1ヶ月以内に全会員中1/5以上の反対票が無い場合に成立する。
  - 28 特定目的実行委員会に、以下の役員を置く。

委員長	1名
副委員長	若干名
会計役	1名
実行委員	若干名
  - 29 特定目的実行委員会各役員の任期は1年とし、翌年度の再任を妨げない。
  - 30 実行委員長は実行委員会を統括し、これを招集する。
  - 31 副委員長は委員長の活動を補佐し、必要に応じて代行を行う。
  - 32 実行委員会を構成する実行委員は、会員の互選によって選出し、運営委員会の承認と1ヶ月の公示期間を経て承認される。
  - 33 委員会は不定期に開催し、決定事項は1ヶ月の公示期間を経て承認される。
  - 34 運営委員会と特定目的実行委員会の役員は、相互に兼任を可能とする。  
ただし、運営委員会委員長と特定目的実行委員会委員長は相互に兼任できない。
  - 35 実行委員長は毎年会計年度後に開かれる最初の総会にて活動報告を行い、その承認を得なければならない。
  - 36 会計役は毎年会計年度後に開かれる最初の総会において会計報告を行い、その承認を得なければならない。
  - 37 特定目的実行委員会の必要とする費用は、原則として委員会独自に収入源を確保しなければならないが、以下の趣旨に合致するものについては、運営委員会の同意を得た上でインターネット上で賛否を問い、全会員中1/5以上の反対が無い場合に、運営委員会の管理する予算から助成・貸与を行う。
    - ①イベント実施前に特有の出費が発生するもの。招待状作成・発送費用など
    - ②会員全体や、宮城大学全体のために寄与するもの
- 附則**
- 38 本規約の改正は、総会において出席者の過半数の賛成を要する。
  - 39 会務に必要な細則は別に定める。
  - 40 この規約は同窓会発足日である2007年12月1日より効力を発生する。
  - 41 2008年10月1日改訂
  - 42 2011年3月1日改訂
  - 43 2016年8月30日改訂
  - 44 2016年10月9日改訂